

## 平成24年度 市長と語る会 （妻木町）

日 時 11月14日 19:30～20:30

場 所 妻木公民館2階ホール

参加者 46名

### <事前質問及び回答>

質問	妻木の南部地区土地区画整理事業について、昨年中の都市計画決定・区画整理組合の設立総会を経て、事業は順調に進展していると聞いているが、事業完了に向けて、進捗状況など公開できる範囲で開示していただきたい。また、地権者の懸念材料でもあった財政支援についても、毎年の予算配分等一層の協力をお願いしたい。
回答	妻木南部土地区画整理事業については、今年5月に各地権者に対し意向調査及び建物等補償調査に関する説明会を実施し、6月には境界立会を実施している。また、路線測量・建物等補償調査や、道路などの詳細設計、仮換地に向けた測量及び設計業務、埋蔵文化財の試掘調査を進めている。今後の予定としては、平成25年度に仮換地指定を行い、工事の着手を目指しており、26年度以降は、道路・水道・下水道等の整備工事を進め、平成29年度までにはすべての工事を完了するスケジュールであると聞いている。基本的に区画整理事業は土地を処分・換地して事業費を拠出するものであるが、市としては補助基準の見直しなどを含め、最後まで支援していきたいと考えている。
質問	西部体育館と西部支所は、耐震やアスベストなどの問題があるほか、雨漏りがひどく漏電すら懸念される。取り壊し撤去や新築には膨大な費用が必要となるが、性急なこととしてお願いするものではなく、将来的展望を含め、地元の要望を反映した形で計画を策定していく姿勢を明らかにしていただきたい。
回答	市の総合計画についてはこれまで10年単位で策定してきたが、今後は社会状況の変化に柔軟に対応するため、3～5年単位で計画策定することを考えている。これまでは施設を建設するばかりであり、修繕などの維持管理費で多額の費用がかかっていることから、施設の整備については原則スクラップ&ビルドで進めたいと考えている。現在整備が必要な市の施設としては、市役所庁舎の優先順位が最も高いが、西部体育館についてはその次に整備が必要であると考えており、何年後に整備するとは明言できないが、皆さんの意見を伺いながら検討していきたい。
質問	地籍調査事業について、継続的な事業として市内全域で進められているが、妻木地区における事業の進捗状況等の情報が各地権者等に対して公開や開示されていない。また、予算不足により継続不能との話も聞くが、具体的な説明もない。昨年の「市長と語る会」でも質問させていただいたが、今後の対応について明確な回答をお願いしたい。
回答	妻木町については、4つの事業地区（妻木第1、第2、第3、妻木西山）が既に事業完了となり、順次その調査結果を登記所に送付している。妻木第1地区については、近々登記完了の予定であるが、その他の地区については、近隣市からも多くの調査結果が提出されており、登記完了の時期について明言できない状況である。また、今後は妻木町で土地区画整理事業が進められることから、肥田町を新規着手地区として予定している。地籍調査事業の事業費（国1/2、県・市1/4）は、以前は1億円以上あった事業費が、最近では約3千万円と大幅な減少を余儀なくされている。これは主に県の財政事情に起因するものであるが、県の財政状況も回復していることから、地籍調査事業については順次進めていきたいと考えている。

### <意見及び市長の回答>

意見	4月から公民館で毎朝ラジオ体操を行っており、参加者も増えてきているが、雨天時でも体操ができるような場所があるとありがたい。以前、夜間ウォーキングする際に暗いので街灯の要望をしたところ、2ヶ所整備されており、この場をお借りして感謝する。
回答	屋根を整備するのは費用的にも難しい。街灯については市は補助金を出しているかもしれないが、町内で整備されていると思われる。
意見	企業誘致を進められ、その従業員が他所から土岐市に定住されるのもいいが、市民が誘致した企業に就職できると良いと考える。企業に対し地元雇用を提案できないか。

回答	全ての企業が地元雇用を進めているわけではないが、一部の企業では積極的に取り組んでいただいております、徐々に進んでいると考えています。
意見	今後高齢化が進む中、自分で車を運転できなくなると、心配になるのは足の確保である。病院や買物など平日の昼間に行けるとありがたい。交通弱者のためにも公共交通の充実をお願いしたい。
回答	市民バスについては運営に費用がかかる。高齢化が進むと医療や介護の方面により費用が必要となり、市民バスの充実はまだ回らない可能性もある。運行経路等については、利用者・専門家・民間事業者等の意見を確認し、効率を考えて決定している。現状が最適とは考えていないが、実施していく中で問題点など皆さんの意見を聞いて充実していきたいと考えている。
意見	環境センターへゴミを直接持ち込む際、現在土岐川からの道路が通行止めになっているが、いつ通れるようになるのか。
回答	昨年の水害により路肩が決壊し、現在災害復旧工事を進めている。年度内には開通する予定である。
意見	妻木町の高齢化率は年々上昇しており、逆に幼稚園の園児数は年々減少している。今後さらに人口減少が進み税収などが減っていく中、施設の更新等で費用は必要になってくると思われる。ゴミ処理の手数料について、以前有料化の話もあったが立ち消えてしまい、現在は無料のままとなっている。今のうちからゴミ処理を有料化にして収入を確保していくなど将来のことを考えて市政運営をしていくべきではないか。
回答	現在ゴミの処理料はいただいております、税金で賄っている。有料化することで多くゴミを出す人は多く負担するようになり合理的であるが、過去の経緯もあることから、皆さんの意見を聞いて進めていきたい。同意見については他地区でもいただいております、検討課題であると認識している。
町内会長	本日は多数の出席に感謝する。参加者が少ない地区もあったと聞かすが、せっかく市長と直接対話できる機会であるので多くの方に参加していただきたいと思っている。市の状況などについて学べる良い機会でもある。妻木町の住民も市・町が良くなるようにとっており、市長にも妻木町に目を向けていただきたい。市長には本日の対応及び質問に対する明確な回答をいただき感謝する。